



2021年11月12日

各位

会社名 アーキテック・スタジオ・ジャパン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山雄平
 (コード番号: 6085 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 管理本部長 山口裕司
 (TEL. 06-6363-5701)

営業外費用の計上並びに業績予想に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期において、下記のとおり、営業外費用に計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2021年8月12日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期決算短信(日本基準)」において未定としておりました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想を公表することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上について

2022年3月期第3四半期において、2021年10月1日に払込完了となりました第三者割当増資並びに吸収合併に伴う株式交付費用55,477千円を、営業外費用に計上する見込みとなりました。

2. 2022年3月期 通期業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期通期実績 (2021年3月期)(A)	百万円 675	百万円 △260	百万円 △248	百万円 △272	円 銭 △164.44
今期通期予想(B)	967	23	△34	△55	△26.53
増減額(B-A)	292	283	214	217	
増減率(%)	43.3	—	—	—	

3. 公表の理由

当期の通期業績予想につきましては、政府からの度重なる緊急事態宣言に伴う業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としておりましたが、緊急事態宣言が2021年9月30日をもって解除となったことや、最近の経済動向など現時点で入手可能な情報や予測に基づき、通期業績予想を公表することといたしました。

売上高につきましては、2022年3月期の上期では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、経済活動が大きく影響を受けた状況で、前期(2021年3月期)の建築家展等のイベント開催数減少とそれに伴う新規アカデミー会員の入会数減少による影響が続いておりました。しかし、2022年3月期下期においては、緊急事態宣言も解除となり、これまで中止や延期に追い込まれていたイベントも再開、前年同期比で開催予定数が全国的に増加してきていること、また当社や建築家・加盟建設会社において顧客との打ち合わせ等に関しても正常化してきており、前期より新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延びていた設計契約や工事請負契約も今期内の成約見込み案件が多いことから、2022年3月期通期の売上高は967百万円(対前期比43.3%増)となる見通しです。

損益につきましては、売上高が上記の着地見通しであることから、営業利益23百万円を計上する見込みであります。しかしながら、上記1.に記載のとおり株式交付費用を営業外費用に計上する見込みであること等から、経常損失34百万円、当期純損失55百万円を計上する見込みであります。なお、新型コロナウイルス感染症の影響は、少なくとも2022年3月期中は続く想定しており、上記通期業績予想におきましてもその影響を織り込んでおりますが、緊急事態宣言等の再発令によっては変動する可能性があります。今後開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響を開示する予定であります。

以上

(注) 本資料に掲載されている将来の見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。